



民間ユネスコ

民間ユネスコの歴史は、1947年、仙台市に世界で最初のユネスコ「協力会」が発足。広島ユ協は、49年の協力会を前身として、73年6月にクラブを発会、74年に「協会」に改称して以来、活動を推進しています。日本ユ協連盟には現在、約300の協会が加盟。



今年度の韓国ユネスコ大邱協会友好親善訪問には、大きな2つの目的があった。

☆一つは、第6次姉妹協定締結の調印を行うことである。今回、はじめて大邱で調印式が行われたが、とても和やかでかつ厳かな雰囲気の中でスムーズにとり行われた。大邱からの記念品として金メッキのスプーンと箸のセットが、広島からは宮島彫りの飾り盆を贈った。調印式後は、人間国宝の優雅で荘厳な「舞」を鑑賞し、懇親会が始まった。懇親会では、各テーブルに日本語が話せる方が配置され、和やかに楽しく親睦を深めることができた。

☆2つ目は、韓国の歴史、文化、自然について理解を深めるとともに会員同士の相互理解と友好親善を図ることだった。2日目に訪れた韓日友好館では、韓国式のお茶の接待を受けたのち館内や隣にある鹿洞書院（元日本武将であった金忠善の住まい）を見学し、韓国の歴史を学ぶことができた。ここには日本人や韓国人の観光客もたくさん訪れ、日



広島ユ協と韓国ユネスコ大邱協会
大邱で第6次姉妹協定を締結
国の壁を超え、人と人のつながりを大切に

韓の友好親善の場所となっている。大邱樹木園は、ゴミ捨て場であった所を埋め立て様々な樹木や植物が植えられた広大な公園として市民の憩いの場となっていた。3日目に訪れたヨンガンシニアセンターは、老人福祉施設で入所者の中には日本語を話せる方が数人おり、日本語で交流をすることができた。4日目に訪れた大邱木工職業専門学校は、国から補助金を受け運営している職業学校で、若者から年配の方が就職するために木工技術を学んでいた。

【訪問団員】須藤有美、田川清、平井勇、藤井正一、藤井孝行、丹羽岳宏、政木恵美子、松岡盛人、松原博子、森木学、山本朝世、渡邊優子（計12名）

全日程を通して、南会長をはじめ協会会員が同

行され、心のこもった温かいもてなしを受け親交を深めることができた。また、食事をしたレストランや街中で行きかう市民の方とも和やかに挨拶を交わし、声を掛け合うことができた。政治的に日韓の関係があまりよくない時期にこそ、市民交流の重要性を実感させられた訪問であり、大変有意義な訪問となった。(国際部会長 政木恵美子)



人間国宝の舞



和やかに歓談

日程

フォト

日(曜)	場所	内容
10.11 (金)	新幹線さくら551号 福岡空港発 大邱国際空港着 歓迎会及び調印式	BX151 * 3航空会社利用 * 第6次姉妹協定締結 * 寄付
10.12 (土)	韓日友好館訪問 アプサン展望台、昼食 ユネスコ大邱協会副会長宅訪問 大邱樹木園散策 ユネスコ大邱協会事務所訪問 陶芸アトリエ訪問 夕食会 ショッピング等散策	* ガイドによる案内 * ユネスコ大邱協会会員
10.13 (日)	韓医薬博物館見学 ヨンガンシニアセンター訪問 昼食 達城郡守との面談 沙門津渡し場散策 石像商チェ・ヒボク宅訪問 夕食会	* 老人介護施設 * 遊覧船
10.14 (月)	大邱木工職業専門学校訪問 東大邱駅発 釜山到着 日本人墓地、李秀賢墓地の参拝 スリマルAPECハウス見学 韓日友好交流会員との懇親会	* ユネスコ大邱協会副会長経営 * SRT325 * 残留日本人妻の墓 * 新大久保駅で日本人を助けようとして命を落とした韓国青年の墓
10.15 (火)	朝鮮通信使博物館、釜山镇支城見学 金海国際空港発 福岡国際空港着 解団式	* BX146



鹿洞書院



大邱樹木園



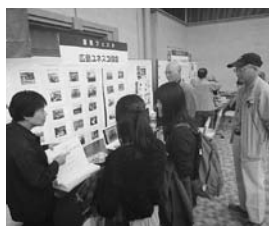
ヨンガンシニアセンター



大邱木工職業専門学校

国際フェスタ2019
広島ユ協も展示でPR

第20回「国際フェスタ2019」(主催・広島平和文化センター)が、今年も11月17日(日)、にぎやかに国際会議場や屋外の平和大通り緑地帯で開かれました。このフェスタには、国際交流を推進している市民グループなどが参加。広島ユ協も国際会議場の地下展示会場で、ユネスコのPRや広島ユ協の平和・文化・教育など、幅広い日常活動を、写真やクイズなどで紹介しました。コーナーには、家族連れや若者、在住外国人も訪れ温かな交流ができました。



国際フェスタ
20回を記念して

広島ユ協など
10団体に感謝状

「第20回」の国際フェスタ開催を記念して、このフェスタに連続20回参加している広島ユ協など10団体に、主催者・公益財団法人広島文化センターから「広島市民に国際交流・国際協力への理解を深めるために尽力した」功勞に対し、感謝状が贈られました。授与式は17日16時から、国際会議場で行われました。



高校生国際理解セミナー

講演 「私はモンゴルに育てられました」

講師：小川 順子さん（広島ユ協理事）

高校生に幅広い国際的な知識と理解を深めてもらおうと、「高校生国際理解セミナー」が11月23日（土・祝）、広島市青少年センターで開かれました。

最初の講演会では、モンゴルと積極的な交流活動を進めている小川順子さん（広島ユ協理事）が「私はモンゴルに育てられました」と題して、モンゴルとの関わりや友好親善の様子を、体験を交えて話されました。

次に高校生による「体験発表・意見交換会」では、「高校生平和大使」や「AIG高校生外交官プログラム参加者」「高校生カンボジアスタディツアー参加者」が、現地での交流などについて感想を述べられました。昼からはコアクションとして、世界寺子屋運動推進・街頭募金活動を旧天満屋ビル前で行いました。



子屋運動で学んだ人やUNESCO（国際連合教育科学文化機関）で長年識字に取り組んできた専門家などが一堂に会して、「成果と展望」「共生社会を創る」などを議題に意見を交換しました。広島ユ協からは3名が参加しました。

中国研究会 SDG s などめぐり意見交換

中国ブロック・ユネスコ活動研究会は、9月28日（土）、岡山市の岡山国際交流センターで開催されました。

今回のテーマは、「SDG s（持続可能な開発目標）の達成に向けたESD（持続可能な開発のための教育）とユネスコ活動」と題して、様々な意見や議論が展開されました。

第1部では、中国ブロックでESDの意義を踏まえ継続的に活動を展開している5団体と2個人の活動（団体）が表彰され、第2部では、「ユースによるユネスコ活動について」と題して、グループディスカッションが、第3部では「SDG s に向けた活動」などについて、大森雅夫岡山市長等によるトークセッションが繰り広げられました。

（広報部会理事 森田昌樹）



ユネスコ全国大会 in 東京 中国ブロック研究会・岡山

全国大会 学びを通して地域を振り返る

日本ユネスコ運動全国大会in東京（主催：公益社団法人日本ユ協連盟、共催：東京都ユ連絡協議会）が9月7日（土）、8日（日）の両日、東京・豊島区立目白小学校で開かれました。75回目となる今大会は、～“世界寺子屋運動30周年記念”「学びを通して地域を振り返る」～をテーマにして開催されました。

「世界寺子屋運動」が、世界の教育の何を変えてきたのか、また今後何を変えていくべきか、寺

「新春フェスタ2020」における
「広島ユネスコ活動奨励賞」表彰式
 ～10団体に決定～

広島ユ協年明けの恒例行事となっている「新春フェスタ2020」が、1月25日(土)に広島市文化交流会館で開催されます。その会において表彰式を行い、国際理解・交流や地域連帯・協働等の優れた活動を継続している次の団体に対して、「第22回広島ユネスコ活動奨励賞」を授与することになりました。
 (教育部会長・湯浅克廣)

＜学校部門＞

広島市立湯来東小学校 (校長 藤本法生)
 広島市立戸坂小学校 (校長 三吉 学)
 広島市立白木中学校 (校長 角崎真由美)
 広島市立吉島中学校 (校長 中村雅俊)
 広島県立祇園北高等学校 (校長 豊田由之)
 広島文化学園大学・短期大学 (学長 田中宏二)

＜社会部門＞

ファッションセラピーの会ヒロシマ (代表 船本和郎)
 広島干潟生物研究会 (事務局長 久家光雄)
 このまちにくらしたいプロジェクト (代表 河原正生)
 ふるさと恵下山まもり隊 (代表 平井時子)

第178回 広島ユネスコサロン

講師 くやみつおさん
 広島干潟生物研究会事務局長

10月6日(日)、第178回ユネスコサロンが、国際青年会館7階研修室(アステールプラザ内)で開催されました。講師は久家(くや)光雄さんで「貴重な広島干潟とそこで活動する子どもたち」と題して、お話がありました。

同氏は元県立高校教頭で、理科教諭として約30年のキャリアを持っておられましたが、平成10年、定年前の54歳の時、意を決して職を辞し、全国的にも

珍しい科学だけを教える私塾を開校されました。その後、広島の干潟は全国でも大変貴重なものであることに着目し、広島干潟生物研究会を発足させ、それをベースに川辺や海や海辺の生物を題材とした体験・学習活動の実践に取り組まれています。

さらに子どもには、これらの活動を通して身近な自然に親しむだけではなく、それらを研究対象とし、まとめあげる指導もされています。子どもたちの研究成果がポスターやスライドで紹介されましたが、子ども自身でこれをまとめたのかと思うと、何れも感動を伴う素晴らしいもので、まさにESDで目指すそのものでした。

(文化部会理事 川迫輝嗣)

ぺあせろべ2019

広島の秋を盛り上げる国際交流フェスティバル「ぺあせろべ2019」が、今年も10月27日(日)に、中区基町の中央公園(芝生広場)でにぎやかに開かれました。好天に恵まれたこともあって、たくさんの家族ずれや近隣在住の中国・韓国の皆さんも訪れ、盛んに市民交流が行われました。

広島ユ協は、作品作りに協力していただいたボランティアの方々と一緒に参加して、「子どもの昔ながらの伝承遊び」(ミニ凧、紙鉄砲、木工細工、竹馬のり、竹とんぼとばし、火おこし、シャボン玉遊び)などを紹介。試作・プレゼント品もあって、協会ブースの周りは子どもたちでいっぱいとなりました。

＜新会員紹介＞ (7月～10月 敬称略)

田中 勝 吉岡 まゆみ 相部 圭一 石丸 博士

＜会員募集＞

ユネスコの精神に賛同し、協会の活動に参加したり、支援をしていただける方を募集しています。年会費(個人会員の場合)3,000円。青年(～35歳以下)は2,000円。申込先: 森木事務局長090-7132-2284、又は広島ユネスコ協会HPから検索。当協会URL: <http://www.unesco.jp/hiroshima/> 入会案内へ。

日 誌

＜'19年7月＞

1日～10月末/広島ユ協を紹介するチラシ(第1案)の準備 (組織部会)
 2日/部会 (国際部会)
 14日/平和の鐘を鳴らそう打合せ(平和・世界遺産部会)
 16日/第178回ユネスコサロン打合せ (文化部会)
 16日/広島ユネスコ活動奨励

賞募集要項印刷・発送 (教育部会)

募集期間 8/1～9/30
 25日/機関紙104号発刊 (広報部会)

27日/理事会
 27日/韓国ユネスコ大邱協会友好親善訪問説明会 (国際部会)

＜8月＞

10、11日/ひろしま盆ダンスに参加 (青少年育成部会)
 13日/台風10号広島上陸予報により15日の「平和の鐘を

鳴らそう」の中止決定・関係者へ連絡
 平和メッセージ集を上記関係者へ配付・ホームページに掲載(15日)

(平和・世界遺産部会)
 22日/広島ユネスコ活動奨励賞候補推薦委員会 (第1回教育部会)

＜9月＞

29日/部会 (国際部会)

＜10月＞

6日/第178回ユネスコサロン「貴重な広島干潟とそ

こで活動する子どもたち」 (文化部会)

6日/企画会議 (広報部会)
 11日～15日/韓国ユネスコ大邱協会友好親善訪問 (国際部会)

15日/アルムニ・クラブと交流

25日/広島ユネスコ活動奨励賞候補推薦委員会 (第2回教育部会)

27日/ぺあせろべに参加 (国際部会)